

令和元年 12月22日〔日〕 9:20～16:45

日本医師会館 大講堂 (東京都文京区本駒込2-28-16)

《日本地域包括ケア学会 プログラム》 参加費 1,000円

9:20 - 9:35 開会セレモニー

理事長講演

9:35 - 10:35 「2040年の多角的社会に向けた地域包括ケアシステムの深化」
田中 滋氏 (埼玉県立大学理事長)

シンポジウム①

「社会的処方のある方を考える」

10:45 - 12:15
座長 松田 晋哉氏 (産業医科大学医学部公衆衛生学教授)
シンポジスト 1. 堀田 聡子氏 (慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授)
2. 佐々江 龍一郎氏 (NTT東日本関東病院、英国家庭医診療専門医)
3. 西 智弘氏 (川崎市立井田病院、一般社団法人プラスケア代表理事)
4. 川越 正平氏 (あおぞら診療所院長)

12:15 - 13:15 休憩

シンポジウム②

「多職種連携コンピテンシーを活用した地域包括ケアシステムを支える
保健医療福祉職員を対象とした教育活動」

13:15 - 14:45
座長 草場 鉄周氏 (一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 理事長)
シンポジスト 1. 吉村 学氏 (宮崎大学 医師)
2. 柴崎 智美氏 (埼玉医科大学 医師)
3. 川瀬 由起子氏 (シティタワー訪問看護ステーション看護師)
4. 後藤 亮平氏 (筑波大学 理学療法士)

シンポジウム③

「在宅医療連携拠点の進化と在宅医療介護連携推進事業の今後」

15:00 - 16:30
座長 鈴木 邦彦氏 (日本地域包括ケア学会 事務局長)
シンポジスト 1. 眞鍋 馨氏 (厚生労働省老健局 老人保健課長)
2. 中野 智紀氏 (東埼玉総合病院、埼玉県医師会)
3. 寺田 尚弘氏 (せいてつ記念病院 病院長、釜石医師会)
4. 千場 純氏 (三輪医院 院長、横須賀市医師会 副会長)

16:30 - 16:45 閉会セレモニー

《主催》日本地域包括ケア学会 《共催》公益社団法人日本医師会

全世代・全対象型地域包括ケアの実現を目指して

日本地域包括ケア学会



公式facebookページ

日本地域包括ケア学会

検索

日本地域包括ケア学会 第1回大会 (申込書)

シンポジウム① 「社会的処方のある方を考える」

英国のGP(家庭医)から始まった社会的処方が現在注目されている。本年5月26日の日医かかりつけ医機能研修制度の応用研修会でも取り上げられたが、まだ理解が深まっているとは言いがたい。そこで今回は英国での経緯と現状も含めて、国内各方面での取り組みを紹介し、かかりつけ医の社会的機能及び多職種連携を進化させるツールとなり得るか、検討を深めることを目的とする。

シンポジウム② 「多職種連携コンピテンシーを活用した地域包括ケアシステムを支える保健医療福祉職員を対象とした教育活動」

地域包括ケアシステムをすすめるには多職種連携能力が必要不可欠である。この教育方略や知見を深めるにはどうすべきかについて、医師、看護師、理学療法士、大学教員の立場から取り組みを発表して意見交換を行う。

シンポジウム③ 「在宅医療連携拠点の進化と在宅医療介護連携推進事業の今後」

2011年に厚生労働省医政局のモデル事業として始まった在宅医療連携拠点事業は、その後、紆余曲折を経て2014年度の厚生労働省老健局の在宅医療連携推進事業の1つとなり、在宅医療介護連携に関する相談窓口となって今日に至っている。この在宅医療連携拠点の進化と現状、および現在見直しが進められている在宅医療介護連携推進事業の今後についての理解を深めることを目的とする。

【申込方法】

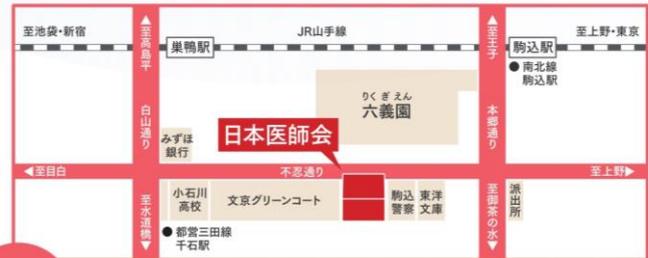
栃木県内参加希望者につきましては、本会で取り纏めますので、本紙により本会地域医療第一課宛お申込み下さい。

【申込締切】

令和元年11月26日(火)

【確認事項】

参加者に対する参加費・日当・旅費等は支給致しかねますのでご了承願います。



会場へのアクセス

JR山手線「駒込駅」南口より徒歩10分/東京メトロ南北線「駒込駅」より徒歩10分
都営地下鉄三田線「千石駅」より徒歩8分

日本医師会内には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

フリガナ	
氏名	
所属郡市医師会	
所属医療機関名	
連絡先 (郵便番号、住所)	〒
連絡先 (E-mail)	

※個人情報、本大会に関する業務で使用させていただきその他の目的では使用いたしません。

◎令和元年11月26日(火)までにお申込みいただきますようお願い申し上げます。